

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	京都精華大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キョウトセイカダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	近畿地方(大阪府を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	芸術学部・デザイン学部・マンガ学部・ポピュラーカルチャー学部
	担当教職員名・役職	福岡正蔵・キャリアデザインセンター長
要素①	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	28
	受入企業等数	39
	受入企業等名	(株)箭木木工所、(株)7EVEN、(有)JIKANDesign、(株)ナナイロ、(有)デラックスキッズ、(株)ブルースブラッシュ、東映(株)京都撮影所、(株)エトレ、(株)ケイ・ユニティー、(株)七彩工房、(株)HRC、(株)スタジオトリガー、(株)プレイフルマインドカンパニー、(株)MATAHARI 他
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 11.その他
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	Webデザイン、ゲームデザイン、編集、プロダクトデザイン、建築・設計などのクリエイティブ職に特化したインターンシップ
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	芸術系の専門性を活かせるクリエイティブ職に特化した「就業型」インターンシップと、新商品や新サービスの開発プロジェクトを企業の社員さんと共に取り組む「プロジェクト型」インターンシップを実施している。
	要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。
2-2.該当するインターンシップの内容		1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)		
2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)		2～4年次
2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)		2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)		教養科目の中のキャリア科目として、2・3・4年次生対象に前期集中で開講し、夏季休暇中の2週間(週休2日の実働10日間)以上のインターンシップおよび事前・事後授業に参加した者に2単位を付与している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている 4.その他
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	最終の「インターンシップ体験報告会」の準備として、報告・発表のスキルを高めるための「プレゼンテーション講座」を実施

	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	第1回 概要説明とインターンシップへの理解 第2回 受入れ先の就業内容の説明、履修エントリー 第3回 メール・履歴書の書き方講習、履歴書作成ワークショップ 第4回 マナー講座(アプローチ編) 第5回 目標設定ワークショップ 第6回 マナー講座(実践編)
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	第7回 振り返り、プレゼンテーション講座第8回 インターンシップ体験報告会
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中に受入れ先業を訪問し、先方担当者と就業状況等について確認する。学生とは、毎日記録している「実習記録」をもとに目標達成状況等について面談を行う。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後に授業評価アンケートにより定量的調査を行い、また事後授業においてワークショップ形式で振り返る定性的調査を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入れ先の企業において、2週間(週休2日・実働10日)のインターンシップを行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業からインターンシップ受入れの申し込みを受けた時点で、就業内容や必要とするスキル等を確認し、教育的効果や実施目的について先方担当者と協議している。またインターンシップ期間中は企業の担当社員に学生への評価を毎日行っていたり、終業時に本人にフィードバックするとともに、インターンシップ終了時には大学側に総括してフィードバックしていただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	京都精華大学
	担当部署名	キャリアデザインセンター
	担当者役職名	センター長
	担当者氏名	福岡 正藏
	電話番号	075-702-5130
	メールアドレス	fukuoka@kyoto-seika.ac.jp